



廣齒連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成26年5月1日

第159号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-6
エゾール広島820 TEL(082)241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 棚田博昭

第62回広島県歯科医師連盟評議員会

平成26年3月15日(土)午後4時より広島県歯科医師会館6階「ハーモニホール」に於いて、標記評議員会が開催された。荒川信介会長の挨拶、報告があった後、議事事項はすべて、賛成多数で可決決定した。

氏名点呼の後、光山武文副会長より開会の辞が述べられ、中原裕穂議長の進行で会議宣告が行われた後、議事録署名者の指名は慣例により議長一任の取り運びとなり、西田弘明評議員(呉)、青地達朗評議員(安芸)に決定した。

次に荒川信介会長より「本日は、お集り頂きましてありがとうございます。昨年の参議院選挙においては、石井みどり参



第62回広島県歯科医師連盟評議員会(3/15)

議院議員が30万票に迫る勢いの得票で当選され、広島県においても1万5千票を超える得票でありました。連盟員の先生方の努力が実ったと思っております。その力をもって診療報酬改定において実態としては0.1%、消費税も入れて0.99%のアップでありました。歯科と歯科についての改定率では、歯科が上回ったのも、医療団体の候補者の中で石井みどり参議

院議員がトップで当選された事が影響しているのではないかと感じております。以上のことから、これからは我々の政治力を充実していかなければ歯科界はどんどん取り残されていく時代が考えられます。まず直近の話題としては消費税が8%になり、直ぐに10%になるという事です。一昨日、昨日と日本歯科医師会の代議員会があり、10%の消費税に対してどのような考え方をもっているかという質問がありました。今いろいろな方法が取りざたされていますが、日本歯科医師会としては非課税を主張しております。課税業者とみなされた場合、事業税が今は非課税ですが課税されると今の試算では1医療機関当たり42万円ほどの事業税がかかることとなります。一般診療所である我々にとっては厳しいため、事業税が非課税のまま継続するためにはやはり消費税も非課税という立場を貫かないと整合

性がとれません。また、特措法の4段階も堅持していく努力をしていきます。政治力を使って通していかないと我々の未来はさらに暗くなる可能性があり。今後、日本歯科医師連盟として我々が本気でやらなければいけない所にさしかかっていると感しています。来年4月は統一地方選挙、再来年の夏には参議院選挙があります。また、日本歯科医師連盟において

政権と党から代表者を出すという事になっていきますので、このままの情勢で行きますと西村まさみ参議院議員は与党ではないので、選挙候補者には手を挙げられない事になります。おそらく新たな候補者を選ぶことになると思います。その節には、先生方にはいろいろと迷惑をおかけすると思っております。おそらく今年の秋ぐらいから選考委員会を立ち上げ候補者を決めていくと思えます。石井みどり参議院議員1人いれればいいという状況では

平成26年度 事業計画

1. 基本方針

一昨年末に誕生した自民党・公明党による連立政権は、民主党による“失われた3年3ヶ月”を取り戻してもらいたいとの国民の期待感から絶大なる支持を得て、高い支持率を維持したまま昨夏の参議院選挙も制し、懸念であった衆参の“ねじれ現象”を解消し、安定政権を確立することができた。

この参議院選挙においては、歯科界職域代表として本県の石井みどり議員も見事高位当選を果たし、今後も歯科界のために存分にご活躍いただけるものと大いに期待を寄せているところである。

安定政権とは言い、アベノミクスの具現化・東日本大震災からの完全復旧・原発事故の処理・消費税引き上げ・TPP問題等難題山積の状況には変わりなく、特に、本年4月からの消費税引き上げは、消費増税分の診療報酬への転嫁問題や事業税および租税特別措置法の存続など、歯科界にも多大な影響を与えるものと憂慮しているところでもある。

一方、本会においては、法人制度改革に伴い会務機構改編を含めて昨年4月から一般社団法人へ移行し、より効率的な会務執行を行いながら会員の負託にお応えできる体制設備を行ったところであり、連盟と本会は言わば車の両輪であることから、互いに連携を取りながら歯科医師の職権を確保すると同時に、安定した医院経営に資するべく連盟活動をより積極的に展開していく所存である。

本会は二葉の里の国有地を取得し、今年是新会館建築へ向けて前進するが、会員のシンボルタワーとしての新会館が、会員の期待に応えられるものであると期待している。

2. 事業項目

- (1) 連盟員の相互協力と体制の確立と団結力の醸成に関する事項
- (2) 各郡市支部並びに選挙区毎の連盟活動に対する支援に関する事項
- (3) 連盟広報活動(連盟ニュース・通信、ホームページ)に関する事項
- (4) 関係機関及び有効団体の医政問題に関する事項
- (5) 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事項
- (6) 各政党職域支部及び職域代表議員広島後援会の事業活動への協力に関する事項
- (7) 推薦国会議員、地方議会議員及び首長選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事項
- (8) 推薦国会議員、地方議会議員及び首長との連絡調整に関する事項
- (9) デンタルミーティング開催に関する事項
- (10) その他政治的諸問題に関する事項



ざいません。先ほども言いましたように、これからは厳しい状況にあると思えます。是非、候補者になられた方を高位当

り参議院議員が歯科口腔保健法を成立させられ、現在参議院厚生労働委員長として走り回っております。朗報として、歯科連連が国会内で最大の議員の先生方には、歯科に対してご理解を頂いていると思えます。これをさらに推し進めていかなければ我々の政治力は奮えないと思っておりますのでよろしくお願ひします」と挨拶があった。

- (1) 報告事項に入り
- (2) 一般会務報告
- (3) 会計現況報告
- (4) 中央情勢報告
- (5) その他

- (1) 続いて議事事項
- (2) 第1号議案 平成26年度事業計画の承認を求めめる件
- (3) 第2号議案 平成26年度会費賦課額及び徴収方法案の承認を求めめる件
- (4) 第3号議案 平成26年度事業収支予算案の承認を求めめる件
- (5) その他の案件
- (6) 協議事項に入り
- (7) 時局対策について
- (8) 石橋良三広島県議会議長の勇退のご挨拶
- (9) その他
- (10) 最後に神原和暢副会長の閉会の辞で終了した。

平成25年度

第2回理事会

3月15日(土)午後3時より広島県歯科医師会館4階「役員会議室」に於いて標記理事会が開催された。

光山武文副会長の開会の辞で始まり、荒川信介会長より「私が会長になりまして初めての理事会であります。昨年の参議院選挙においては、石井みどり参議院議員が30万票に迫る勢いで、広島県において1万5千票を越える得票で当選されたのは、山科透前会長のも

と会員の先生方に頑張ってもらったお蔭であると思っております。その力を持って診療報酬改定において実態としては0.1%、消費税も入れて0.99%のアップでありました。医科と歯科においての改定率では、歯科が上回っております。また、本日は参議院議員会終了後、「石井みどり・林正夫・ゆざき英彦」後援会総会を行うことになっております。ゆざき英彦広島県知事においては、昨年の11月に

2期目の当選を果たされまして、その後、広島県歯科医師会館の建設において広島県行政のお力添えを頂き、この会館を拠点として広島県民の為に政策が出来るかと思っております。いろいろのご意見を頂戴し、本日は来年度の事業計画等を認めて頂く事ではあります。来年度に協議検討して頂き、再来年度から改革が出来れば良いと思っております。どうぞ本日の理事会のご審議をよろしくお願いたします」と挨拶が



第2回理事会(3/15)

た。連盟規約により荒川信介会長が議長となり報告事項に入り
(1) 一般事務報告及び会計現況報告
(2) 中央情勢
(3) その他
について津島隆司理事長から報告があった。
次に協議事項に入り
(1) 連盟支部交付金について
支部交付金の使途に関する調査(ご協力お願い)「支部交付金に関するご意見」
尾道・齊田健一支部長
安芸高田・山崎信義支部長
広島市・光山武文支部長
安芸・岡田信彦支部長
(2) 第62回評議員会の取り運びについて
(3) 「石井みどり・林正夫・ゆざき英彦」後援会総会の取り運びについて
(4) その他
最後に神原和暢副会長の閉会の辞で終了した。

平成25年度広島県歯科医師連盟 石井みどり広島県後援会・林正夫後援会・ゆざき英彦後援会総会

平成26年3月15日(土)午後5時30分より石井みどり広島県後援会・林正夫後援会・ゆざき英彦後援会総会が開催された。津島隆司広島県歯科医師連盟理事長の司会進行に

より、光山武文広島県歯科医師連盟副会長の開会の辞で始まり、荒川信介広島県歯科医師連盟会長より「評議員会の後でもあり皆さんお疲れ様でした。石井参議院議員お忙

しい中、有難うございます。林議長もいつも我々の為に尽力下さり有難うございます。湯崎県知事、2期目の当選本当におめでとうございませ

定の会館には本当に良い口腔保健センターを作りたいと思っております。2月12日に厚生労働大臣に中医協から答申が出ました。この4月1日から診療報酬改定がされます。既にそ



石井みどり参議院議員の挨拶

の内容が歯科医師会のほうから届いているかと思いきや、私には先生方にお詫びを申し上げていきま

う思いがあつてあまり介入しなかつたのですが、今回はどうしてもこの部分は介入しなくては、先生方の診療環境の改善に繋げなければと思ひました。しかしこれもお詫びをしなければなりません。昨年2月から6月までに全国を2巡したときに先生方にかく診療の実態に合わない療書の紙だし、これを何とか緩和したいというところを訴えて参りました。その時にせめて医科並みにというつもりでしたが、厚生労働省の役人が何を言っていたのか、歯科を医科並みに下げるとは医科の提供文書を歯科並みに増やしたのです。もうこれは医科の先生方に随分攻められるのではないかと懸念しております。そういうところで提供文書、特に歯管の所が多少は緩和することが出来ましたが、全体としては大幅に減らすことが出来ませんでした。ただ長年の懸念、たつたオーバードンチャーがある所の残根歯削合であるとか、日本歯科医師会が長年交渉して実現できなかったところ、なか

いてお話を頂戴出来ると思っております。本日に御三人とも健康に留意されて、県民・国民の為に働いていただければと思います。我々も先生方をお支えしていきたいと思っております。これで挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願いたします」と挨拶があった。

定率は決定しましたが、今回はネットでマイナス1.26%だったと受け止めております。本来は薬価を薬価に近づけるというところで引き下げられる薬価財源、それと本

ら形勢が持続してきた訳ですが、過去一度だけこの薬価財源をすりかえられたことがあります。今回もまたしても同じことが起こってしまいました。たまたま引き下げられた薬価財源が1.36%であ

る所、日本歯科医師会が長年交渉して実現できなかったところ、なか

念ながら委員長という事で一切質問が出来ません。出来る限り裏に回って引き続き交渉を続けていきます。今日は県知事も県議会議員もお出でいただいたので是非お二方の前で申し上げておきたいことは、未だ法案としては成立していませんが、多分5月の連休明けになると思ひます。厚生労働省から今回11本閣法が出てきております。そして議員立法も相当数出てくるというところで、通常国会は150日間でございますが、厚生労働省が動き出すのは、臨時国会に近い会期中で閣法を本当に成立させられるかどうかの委員会運営になると思ひます。その中でも目玉なのは介護保険法の改正と医療法の改正です。これを繋いで、地域における医療及び介護の相互的な確保を推進するための関係法律を整備等に関する法律案と言います。本来であればこの1本が5本も6本も相当する中身でありますので、特に介護保険のところは民主党が反対して対案を出すという事になっておりますので、中々しんどい委員会運営になりそうです。この中で特に一番の目玉は地域における医療と介護の相互的な確保の推進に



石井みどり参議院議員

りませんでした。ただ、厚生労働省において配分比率だけは死守出来た事が唯一の救いであつたと思っております。診療報酬は、得られた薬価財源と本体とで成り立っていると理解してはいますが、今回は消費税増税と重なり大変不幸な結果が起りました。財務省は1・23%、厚生労働省は1・36%と主張しました。結果的には1・36%が消費税に対応することになりました。薬価を引き下げた財源が1・36%でした。たまたま、同じ数字であつた為に、本来の消費税増税に伴つての仕入価格に転嫁されていません。消費税によつて得られる財源から対応するのが財政の考え方の基本であり、あくまで、薬価財源をそれに加えてはならない事だと思つておりました。また、選挙公約の1つである文書提供を診療の実態に合わせて訂正をしたと申し上げました。医科の文書提供は、歯科の半分です。歯科だけに、不当に文書提供が課せられている事を実態に合わせて是正しなければならぬと訴えてきました。残念ながら文書提供の数は少なからず合致していませんが、実態に合致せず、苦勞された事が相当数改善されたと思つております。しかし、抜本的な改善ではなかつたと思つておりますので、減らす努力をしていかなければなりません。また、今回の交渉でも勝ち得なかつた事がまだまだ残っております。これから組織代表として、先生方の現場の大変さを軽減できるように努めて参ります」と国会報告があつた。

次は平成25年度日本歯科医師連盟褒賞授与式が行われた。受賞者個人では渡辺俊之先生(愛知県)、河村滋先生(東京都)、野淵秀孝先生(大阪府)、竹内昌司先生(茨城県)、高松知三先生(群馬県)以上5名、受賞団体では大阪府歯科医師連盟、鳥根県歯科医師連盟、以上2団体が発表された。続いて高木会長が祝辞のあと表彰状の贈呈が行われた。

次に報告へ移る前に、遅れて参加された西村まさみ参議院議員より、「先生方よりたくさんのご支援を頂きありがとうございます。国会において3月17日(月)に厚生労働委員会において60分の

質問をしました。タイムアップよく私の前に与党からも診療報酬改定の、基金について質問があり、私は野党の立場でさらに深追いをした質問をする事が出来ました。その中継は、いつでも見て頂くことが出来ます。私がどうしても言いたかつた事は、今回の診療報酬改定は消費税と賃上げ交渉を絶対にするという安倍晋三総理のお言葉と通常改定の3つの観点からプラス改定にならなければいけなかつたはずで、終わつてみれば、消費税だけで終わつてしまつてしまつた。さらに薬価財源が、基金という形になつてしまつた。2年

の祝辞のあと表彰状の贈呈が行われた。

次に報告へ移る前に、遅れて参加された西村まさみ参議院議員より、「先生方よりたくさんのご支援を頂きありがとうございます。国会において3月17日(月)に厚生労働委員会において60分の

質問をしました。タイムアップよく私の前に与党からも診療報酬改定の、基金について質問があり、私は野党の立場でさらに深追いをした質問をする事が出来ました。その中継は、いつでも見て頂くことが出来ます。私がどうしても言いたかつた事は、今回の診療報酬改定は消費税と賃上げ交渉を絶対にするという安倍晋三総理のお言葉と通常改定の3つの観点からプラス改定にならなければいけなかつたはずで、終わつてみれば、消費税だけで終わつてしまつてしまつた。さらに薬価財源が、基金という形になつてしまつた。2年

の祝辞のあと表彰状の贈呈が行われた。

次に報告へ移る前に、遅れて参加された西村まさみ参議院議員より、「先生方よりたくさんのご支援を頂きありがとうございます。国会において3月17日(月)に厚生労働委員会において60分の

質問をしました。タイムアップよく私の前に与党からも診療報酬改定の、基金について質問があり、私は野党の立場でさらに深追いをした質問をする事が出来ました。その中継は、いつでも見て頂くことが出来ます。私がどうしても言いたかつた事は、今回の診療報酬改定は消費税と賃上げ交渉を絶対にするという安倍晋三総理のお言葉と通常改定の3つの観点からプラス改定にならなければいけなかつたはずで、終わつてみれば、消費税だけで終わつてしまつてしまつた。さらに薬価財源が、基金という形になつてしまつた。2年

の祝辞のあと表彰状の贈呈が行われた。

次に報告へ移る前に、遅れて参加された西村まさみ参議院議員より、「先生方よりたくさんのご支援を頂きありがとうございます。国会において3月17日(月)に厚生労働委員会において60分の

質問をしました。タイムアップよく私の前に与党からも診療報酬改定の、基金について質問があり、私は野党の立場でさらに深追いをした質問をする事が出来ました。その中継は、いつでも見て頂くことが出来ます。私がどうしても言いたかつた事は、今回の診療報酬改定は消費税と賃上げ交渉を絶対にするという安倍晋三総理のお言葉と通常改定の3つの観点からプラス改定にならなければいけなかつたはずで、終わつてみれば、消費税だけで終わつてしまつてしまつた。さらに薬価財源が、基金という形になつてしまつた。2年

の閉会の辞で終了した。

石井みどり参議院議員(厚生労働委員長)を励ます会

平成26年3月20日(木)午後6時よりホテルニューオータニ・ガーデンタワー5F、鳳凰の間において、石井みどり参議院議員(厚生労働委員長)を励ます会が開催された。



挨拶する石井みどり参議院議員

比嘉なつみ衆議院議員の司会の下開会されたが、当日は本年度予算を審議する重要な参議院本会議に出席しなければならぬため、石井みどり議員本人が遅延を余儀なくされる形での開催となった。

まず初めに、大久保満男日本歯科医師会会長および高木幹正日本歯科医師連盟会長による発起人

代表の挨拶が行われた。続いて来賓の挨拶が行われ、石破茂自由民主党幹事長、谷垣禎一法務大臣、根本匠復興大臣、河村建夫自由民主党選対委員長、野田聖子自由民主党総務会長、高市早苗自由民主党政調会長、田村憲久厚生労働大臣そして額賀福志郎平成研究会会長らが口々に石井議員の平素からのパワフルな活動を称賛する祝辞が述べられた。

参議院本会議が終了後、午後6時40分頃、石井みどり議員が会場に到着し、多くの参議院国会議員、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟、都道府県歯科医師会、同窓会、校友会およびメディア関係者ら約600名の出席者の盛大なる拍手で迎えられた。そして、予算成立の報告の後、励ます会の開催に対する謝辞および現在厚生労働委員長という重責を担う立場であるが、全国の歯科医師のため、職域代表として多くの山積する課題に対して鋭意努力していく旨の力強い挨拶が述べられた。

引き続き、笹川堯元衆議院議員の乾杯の発声にて開宴となり、参議院本会議終了後、次々と到着する議員のなか、森まさこ内閣府特命大臣、山

谷えり子参議院自由民主党政審会長、茂木敏充経済産業大臣そして石原伸晃環境大臣らが順次祝辞を述べた。宴たけなわであったが、中締めとして歯科医師である関口昌一総務副大臣兼内閣府副大臣が我々歯科医師の立場から挨拶が述べられた。そして、石井みどり参議院議員を励ます会は盛會裏に執り行われ午後9時頃に終了した。



表彰された光山武文氏と西村好一氏

光山武文氏、西村好一氏 県連会長表彰を受く

光山武文氏(広島市)、「リーガロイヤルホテル広島」にて行われた第53回歯科医師支部における永年の連盟活動の功績が称えられ、3月29日(土) 会長表彰を受けられた。

連盟会務報告

(平成25年8月3日、平成26年3月14日)

- 8・3 第1回連盟理事会
- 8・3 第61回連盟評議員会
- 8・27 デンタルミーティング
- 8・27 ゆざぎ知事を囲む県政懇談勉強会
- 8・27 広島未来創造塾中央研修会
- 8・29 ゆざぎ英彦時局講演会
- 9・2 平口ひろし君を励ます会
- 9・3 ひろしま次世代政経懇談会
- 9・3 連盟事業打合せ
- 9・14 岸田文雄新政治経済塾
- 9・20 連盟ニュース第156号発行
- 9・24 第120回日歯連盟臨時評議員会
- 9・24 石橋良三君の議員在職20年と副議長就任を祝う会
- 10・5 宮沢洋一君を励ます会
- 10・7 ゆざぎ英彦後援会事務所開き
- 10・11 ゆざぎ知事を囲む県政懇談勉強会
- 10・20 小林史明君を励ます会
- 10・24 広島県知事選挙告示日
- 10・24 ゆざぎ候補出陣式
- 10・30 連盟ニュース第157号発行
- 11・10 広島県知事選挙投票日
- 11・22 ひろしま次世代政経懇談会
- 11・25 中川俊直代議士を囲む政経セミナー
- 11・30 自民党広島県政経文化講演会
- 12・12 自民党西区第一支部研修会
- 12・16 岸田文雄新政治経済塾
- 12・19 ゆざぎ知事を囲む県政懇談勉強会
- 1・10 公明党広島県本部「平成26年新年賀詞交歓会」
- 1・11 連盟ニュース第158号発行
- 1・14 岸田文雄後援会新年互礼会
- 1・14 石橋良三副議長新年挨拶来会
- 1・19 母谷たつり後援会新年互礼会
- 1・27 連盟事業打合せ
- 2・11 平口ひろし後援会新年互礼会
- 2・14 ゆざぎ知事を囲む県政懇談勉強会
- 2・24 石井みどり参議院議員来会
- 3・7 都道府県歯科医師連盟会長会議



広島からの励ます会出席者

岸田文雄衆議院議員(外務大臣)、自民党県連会長に再選

3月29日(土)、「リーガロイヤルホテル広島」にて行われた第53回自由民主党広島県支部連合会大会において、岸田文雄衆議院議員の再選が承認された。



挨拶する岸田文雄衆議院議員

編集後記

連盟ニュースにおいて、石井みどり先生の国会での歯科界の為に活動されているのが連盟員の皆に伝えられるように書いていきたいと思っています。(K)

連盟ニュースの仕事をしていると、真剣に歯科界の為に熱く議論、討論している場面にしばしば立ち会います。その思いのこもった生の声が、連盟員の皆様に届くように、わかりやすい記事を書いていきたいと思っています。今年度もよろしくお願ひします。(泰)

医療財政が確保されることは前提ですが時代の流れが介護や訪問に力を注ぐ傾向にあり、限られた歯科医療財政を、訪問や設備投資ができる位余力がある医院に特化した項目ばかりに割いているように思います。更なる歯科医療従事者への理解を国会や中協に求めるべく人脈作りの強化、人材育成などに期待します。(T)

今月オバマ大統領の来日がある。TPP交渉は日米首脳会談により決着となるであろうか。もし日本が米国に譲歩を示せば一気に合意へと向かう可能性がある。TPPに入れば保険に米国流の混合診療が持ち込まれ、国民皆保険が崩壊するという危険性は考えなくてもよいのであろうか。(志)